

# 「令和5年度いわて牛の集い」および 第34回いわて牛枝肉共励会 「チャンピオン牛」お披露目会



まえむきに  
ひたむきに  
純情産地  
いわて

## 「令和5年度いわて牛の集い」

令和6年1月22日

岩手県といわて牛普及推進協議会は、1月22日、東京都品川区のホテルで開催された「令和5年度いわて牛の集い」でトップセールスを行いました。達増拓也岩手県知事や東京食肉市場関係者、買参関係者、県内生産者など約170名が出席しました。

達増知事は、あいさつで「今日はいわて牛の集いを契機に、一層岩手県のファンになっていただき、いわて牛をはじめ岩手の農畜産物

をご愛顧いただくようお願いしたい」と話しました。  
また、集いでは、いわて牛応援団長の天津木村さんが司会を務め、参加者全員で乾杯し、いわて牛を使った料理を堪能したほか、首都圏でいわて牛の消費拡大にむけて生産者による産地PRをしました。



生産者による産地PRの様子(発表者:JAいわて花巻の高田直樹さん)



いわて牛を使用した料理が並びました



いわて牛と一緒にいわてのワインも味わいました



## 第34回いわて牛枝肉共励会

令和6年1月23日

## 「チャンピオン牛」お披露目会

令和6年1月29日

いわて牛普及推進協議会は1月23日、東京都品川区にある中央卸売市場食肉市場で第34回いわて牛枝肉共励会を開催しました。

歴代最多となる66頭のいわて牛が出品され、見事最優秀賞を受賞し「チャンピオン牛」に選ばれたのは、JA岩手ふるさととの猪苗代止(とまる)さん(金ケ崎町)の出品牛です。枝肉重量は557kg、格付けはA・5でBMSは最上級のNo.12といわて牛五ツ星の中でも最高品質の牛肉で、枝肉に厚みがあり、肉のつき方がなめらかでバランスがよく、脂肪交雑に優れ、光沢が艶やかと評価されました。

また、1月29日には、本会直営レストランみのるダイニングで、「チャンピオン牛」のお披露目会を開催しました。

お披露目会には、猪苗代止さんのお孫さんの大智(たいち)さん、いわて牛応援団長の天津木村さん、岩手県農林水産部の佐藤法之副部長、伊藤清孝JA全農いわて

### 第34回いわて牛枝肉共励会 受賞者一覧(敬称略)

受賞内容	所属(農協名)	生産者名
最優秀賞	JA岩手ふるさと	猪苗代 止
優秀賞	JA岩手ふるさと	渡辺 悟
	JA岩手ふるさと	及川 哲郎
	JA新しいわて	竹田 直也
優良賞	JAいわて花巻	杉沢 健友
	JA江刺	菅野 陽弘
	JA岩手ふるさと	(株)小形畜産
	JAいわて平泉	(有)小室牧場
	JAいわて中央	細川 志伸



佐藤副部長、天津木村さん、猪苗代さん、伊藤会長



笑顔でいわて牛をPRする猪苗代大智さん



最優秀賞を受賞した猪苗代止さんの孫の大智さん



いわて牛応援団長の天津木村さんがお披露目を行いました



チャンピオン牛特別ステーキ膳

## 令和5年産米の品質・食味を競う

令和6年2月2日(金)

令和5年度「至福の味、金色の風」コンテスト、「銀河のしずく」頂上コンテスト、岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」合同表彰式

県や本会などの関係団体で構成する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」は、令和5年産「金色の風」、「銀河のしずく」、「ひとめぼれ」の品質・食味を競うコンテストの表彰式を2日、盛岡市内のホテルで開催しました。

コンテストは、高品質・良食味米生産に向けた生産者の意欲喚起と栽培技術の向上を目的に行われ、品質・食味の機器分析による一次審査と食味評価による最終審査にて、結果を決定しました。表彰式では、各コンテスト上位入賞者へ賞状授与を行いました。

表彰式後、いわて純情米応援団長の天津木村さんが登場し、コンテスト入賞米の試食や生産者代表者、2023いわて純情むすめとのトークセッションを通じて消費拡大をPRしました。また、千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希選手の新アンバサダー就任発表も行われました。詳しくは、9ページ「Information」をご覧ください。

同協議会は、昨年制定した「銀河のしずくの日(4月29日)」および「金色の風の日(5月29日)」の記念日に合わせ、今年も記念日の前後の期間を「いわて純情米消費拡大月間」としてPRを展開していきます。



令和5年度岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」受賞者

### ■各コンテストの受賞者・入賞地域(敬称略)

- 「至福の味、金色の風」コンテスト
- 第1位 千葉 大(一関市)
  - 第2位 株式会社百姓(奥州市)
  - 第3位 岩淵 隆(一関市)、小野寺 あき子(一関市)、千葉 洋(一関市)

### ■「銀河のしずく」頂上コンテスト

- 第1位 藤井 勇幸(花巻市)
- 第2位 佐々木 武年(奥州市)
- 第3位 川村 茂樹(花巻市)、高橋 耕作(花巻市)、大和田 司(陸前高田市)

### ■岩手県産ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」

- 最優秀賞 JAいわて平泉 旧一関市
- 優秀賞 JAいわて中央 紫波町、JAいわて花巻 花巻市、JAいわて花巻 北上市、JAいわて平泉 旧室根村

## 農業の未来を共有

令和6年2月6日(火)

令和5年度農家手取り最大化プロジェクトセミナー

本会は6日、盛岡市内のホテルで令和5年度農家手取り最大化プロジェクトセミナーを開催しました。

同プロジェクトでは、持続可能な農業生産と農家の所得向上を目的に、各地域からモデルとして選ばれた農業経営体が3カ年を通して生産コスト低減や農業ICT等の実践メニューの実証を行っています。本セミナーは、経営体やそれを支えるJA-TACのスキルアップと連携強化を目的として開催され、モデル経営体やJA、岩手県などの関係者が出席しました。

セミナー前半は、スマート農業技術により大型機械化農業を実現している、株式会社西部開発農産の清水一孝生産部部長が大規模経営に向けたスマート農業の導入としてAIによる栽培管理支援システム「ザルビオ」の活用について講演を行いました。清水部長は「ザルビオの予測に任せることで適期に作業ができるだけでなく、人間関係も良好になった」と話しました。

後半は研修として、令和5年度に取り組んだ実践メニューの成果発表が行われ、ザルビオを活用した水田乾田直播栽培の可変施肥のほか、WCSの良品質生産に関する実証成果や今後の展望についての報告がありました。

セミナーに参加した経営体からは、「収量が10%アップするのなら、可変施肥を導入したい」「WCSで2倍の単収を実現した経営者から技術を聞いたので、大変勉強になった」との感想が寄せられました。

## 農家手取り最大化プロジェクトセミナー



セミナーの様子

## 肉質比較について学ぶ

令和6年2月16日(金)

豚経連女性部・後継者研修会

令和5年度岩手県農協養豚経営者連絡協議会女性部・後継者研修会が、16日、花巻市内のホテルで開催されました。研修会は同協議会が主催し、系統銘柄豚の確立ならびに生産意欲の向上を目的として、県内生産者・農協・JA全農いわておよび関係機関の関係者18名が出席しました。

研修の一部として、銘柄豚の食べ比べが行われ、出席者は豚肉の外観や調理の印象、食感、味と香りなどの項目について、6種類の豚肉を比較しながら味わいました。

食べ比べの後には、JA全農北日本くみあい飼料(株)営業部養豚課の岩藤信治さんが講師を務め、「国産豚肉と輸入豚肉の肉質比較」についての講演を行いました。

研修会に参加した生産者からは「国産の豚肉は柔らかく甘みがあった」「肉質の概念を知ることができて参考になった」との感想が寄せられました。



銘柄豚の食べ比べをする生産者



研修会の様子

## 「食」で子どもたちをサポート

令和6年2月18日(日)

JA全農いわて 純情産地いわて杯 第46回岩手県スポーツ少年団柔道大会

盛岡市の岩手県営武道館で18日、岩手県柔道連盟主催の「JA全農いわて 純情産地いわて杯 第46回岩手県スポーツ少年団柔道大会」が開催されました。岩手県内の柔道スポーツ少年団31団体が参加し、日頃の鍛錬を発揮する熱戦が繰り広げられました。

本会では、スポーツに取り組む子どもたちへのサポートを通じて「食と農の大切さ」を伝えることを目的に、さまざまなスポーツ大会において特別協賛を行っています。「純情産地いわて杯」を冠する今大会でも、岩手県産の農畜産物を提供し、上位入賞のチーム・個人への副賞に「いわちくハム詰め合わせギフト」「銀河のしずく」「いわて牛サーロインステーキ」、また参加賞としていわて純情モチやJA花巻りんごジュース、牛乳などを用意しました。

開会式では、本会の高橋輝啓農支援部長が「岩手県は食材の宝庫。おいしい農畜産物を食べて丈夫な身体をつくり、更なる高みを目指して頑張ってください」とあいさつしました。その後、形「演武」の部、個人の部、団体の部の試合がそれぞれ行われ、会場内は熱気に包まれました。

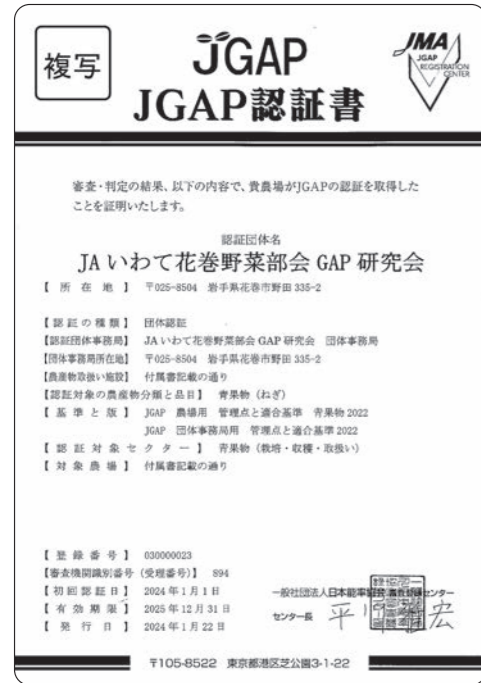


会場の各所で子どもたちの熱い戦いが繰り広げられました

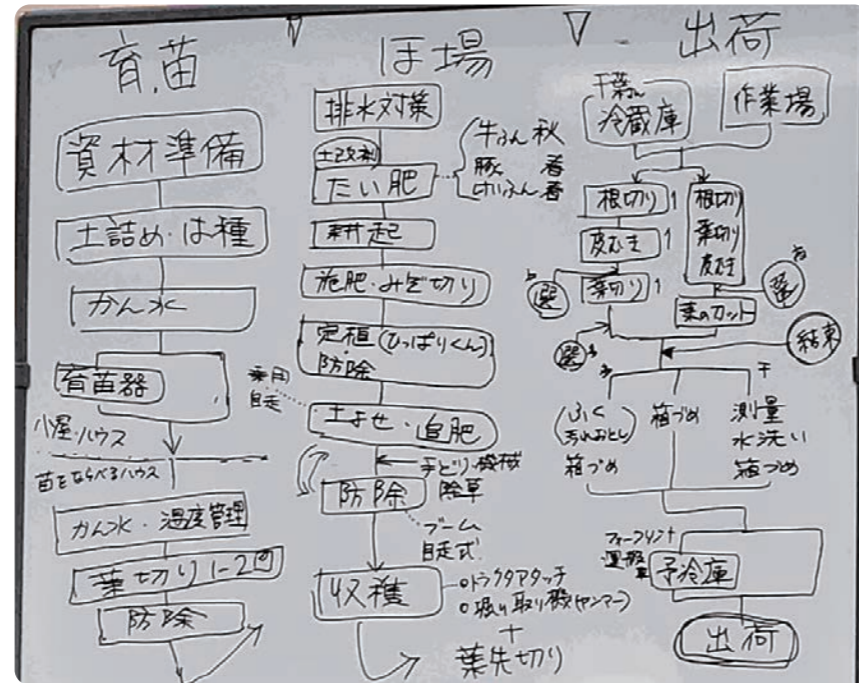


「三船十段記念館柔道スポーツ少年団」団体戦優勝おめでとうございます!

営農支援部からJGAP指導員の資格を有する職員が、延べ25日間にわたりJAや生産者、JA集荷施設に出向き、農場や施設のリスク評価と記録帳票類の確認作業を行いました。その他、農場マニュアルの作成や内部監査などを支援し、令和6年1月に「JAいわて花巻野菜部会GAP研究会」は、県内JAでは第1号となる「JGAP団体認証」を取得しました。



JGAP認証書



リスク評価のため、作業工程をホワイトボードに書き出し



農場での内部監査



農場ルール等を従業員に周知するための掲示

### 4. 今後に向けて

国は、令和2年に「令和12年度までにほぼ全ての産地で国際水準GAPの実施を目指す」と閣議決定しました。これを受けて、岩手県は「いわて国際水準GAP推進チーム」を立ち上げ、本会もこれに参画し、令和5年11月に国の「国際水準GAPガイドライン」の準拠を得た「いわて国際水準GAP」の普及に関係機関と連携して取り組んでいくこととしており、本会も参画しています。初年度は、県内すべての小麦生産者（産地）から、「食品安全」「労働安全」を優先した取り組みの支援を始める予定です。



# INTRODUCTION

営農支援部

## GAPの取り組み支援

### 1. はじめに

営農支援部では、JA生産者団体の認証GAP取得に向けた取り組みを支援しています。今年度の取り組みについて紹介します。



### 2. GAPとは？

GAP (Good Agricultural Practices: 農業生産工程管理) とは、どのように農場を管理しているかを「見える化」し、管理を適切に実践して持続可能な農業経営を行うための取り組みです。農業生産においては、「食品安全」「環境保全」「労働安全」「人権保護」「農場経営管理」の5つの分野について適切に管理することが大切です。GAPを活用することで、作業効率の向上や作業者のモチベーション意識の向上、適切な投資管理など、様々なメリットが得られます。



県中央会主催のJGAP指導員研修会を受講



各種GAP指導員の証

### 3. 取り組み

営農支援部は、JA生産者団体が認証GAPを取得する（更新する）際に必要な「生産者の内部監査」や「JA団体事務局の内部監査」に、GAP内部監査員の資格を有する職員を派遣し、GAP農場マニュアルに沿って、適切な取り組みがなされているかを点検し、生産工程管理の改善助言を行っています。併せて、JAから本会に出向しているJA営農指導員や本会の若手職員には、GAP指導員資格を取得することで、生産者へGAP取り組み支援がしっかりと行えるよう、職員の育成にも力を入れています。

また、令和5年度は新たにJAいわて花巻の「JAいわて花巻野菜部会GAP研究会（加工用ネギ）」が、実需者との安定した取引を継続させるため、「JGAP団体認証」の取得を目指して取り組みを開始しました。



## 岩手県出身 佐々木朗希選手 新アンバサダー就任

本会は、岩手県出身でプロ野球・千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希選手を「いわて純情米」をはじめとした「純情産地いわて」のアンバサダーへ起用することについて、所属球団と契約を結びました。

発表は、2月2日、令和5年度「至福の味、金色の風」コンテスト、「銀河のしずく」頂上コンテスト、岩手県産ひとめぼれHi-1グランプリ合同表彰式にて行われ、会場では、佐々木朗希選手のビデオメッセージを放映しました。佐々木朗希選手は農家へ「岩手県出身の僕は、岩手県のお米を食べて野球に打ち込んできた。『いわて純情米』のPRが出来るととても嬉しい。これからも、岩手のお米をたくさん食べて頑張っていきたい。岩手の生産者の皆さん、毎年美味しいお米をありがとうございます。僕と一緒に『いわて純情米』を盛り上げていきましょう」とメッセージを送りました。佐々木朗希選手のビデオメッセージは、JA全農いわて公式Youtubeチャンネルで公開しています。

▶ <https://youtu.be/qPk2bfD99dk>



千葉ロッテマリーンズ 佐々木朗希選手からのビデオメッセージ

応援メッセージ  
僕と一緒に  
いわて純情米



また発表に先駆け、1日には千葉ロッテマリーンズのキャンプ地である沖縄県石垣市において、伊藤清孝運営委員会会長から球団へ岩手県オリジナル品種「金色の風」、「銀河のしずく」を贈呈しました。受け取った佐々木朗希選手は「僕にとってお米はプレーの源となっている。これからはいわて純情米の素晴らしさ、美味しさを多くの人に知ってもらえたらと思っている」とコメントしました。

なお、同球団とオフィシャルスポンサー契約も結び、今後は、佐々木朗希選手のCM放映、ZOZOマリンスタジアムへの看板掲出などで「いわて純情米」を全国的にPRしていきます。4月には、JA全農いわて冠協賛試合も行われる予定です。



米穀部  
米穀対策課  
菊池 輝光

## 令和5年産米 検査概況について

農林水産省は、令和5年12月12日に令和5年産水陸稲の収穫量を公表し、全国の主食用米作付面積は124.2万ha、10a当たりの収量は533kg(1.70mmふるい目幅ベース)となりました。主食用米収穫量につきましては66.1万ト(前年産比▲9.1万ト)で、作況指数は101の「平年並み」、農家等使用ふるい目幅ベース)となりました。

地域別に見ますと、北海道、関東、東山、沖縄ではおおむね天候に恵まれ、「やや良」、東北及び東海、近畿、中国、四国及び九州は、6月から7月の大雨や日照不足の影響がありました。その後天候に恵まれたため「平年並み」となりました。北陸は日照不足や7月8月の少雨や記録的な高温の影響により「やや不良」となりました。

以上のことから、東北の作況指数は101の「平年並み」、岩手県の作況指数は104の「やや良」となりました。(表1参照)

ここで、令和5年産米の農産物検査概要について報告します。

全国の農産物検査の概況(農林水産省公表、令和5年12月31日現在)ですが、全国の水稲うるち玄米は382万トンが検査され、1等比率が61.3%と前年同期の78.6%より17.3ポイント低いものとなっています。

2等以下に格付けされた主な理由は、形質(心白・腹白等)が65.8%(前年55.4%)、整粒不足14.7%(前年21.3%)、着色粒14.4%(前年17.2%)となっています。

一方、岩手県の生育状況ですが、播種盛期は4月16日と平年並、活着後の6月は気温が高く推移し初期生育は良好、7月は気温・日照時間とも平年を上回り、生育は平年に比べ

■表-1 作況指数(5年産は、12月12日現在)

	全国	東北	岩手	青森	秋田	宮城	山形	福島	北海道	北陸	関東	東山	近畿	九州
5年	101	101	104	102	97	105	100	102	104	97	102	100	100	101
4年	100	98	99	99	95	100	99	100	106	100	99	102	98	98
3年	101	102	103	102	102	101	104	101	108	97	101	99	99	99
2年	99	104	103	105	105	102	104	102	106	102	101	96	85	85
元年	99	104	103	106	104	102	105	102	104	101	97	99	86	86

注)R元~R4は確定値

(農林水産省公表資料)

■表-2 5年産水稲うるち玄米の等級比率(12月末日現在)

地域別	検査数量(トン)	等級比率(%)			
		1等	2等	3等	規格外
全国	3,821,176	61.3	30.3	7.0	1.5
東北	1,227,415	67.7	29.2	2.5	0.6
全国1位・岩手	141,425	91.5	7.8	0.6	0.1
全国2位・長野	85,922	91.2	7.7	1.0	0.1
全国3・千葉	148,098	87.6	11.1	1.0	0.4
(参考) 神奈川(最下位)	4,190	14.8	79.1	5.9	0.2

(農林水産省公表資料)

■表-3 5年産米銘柄別検査数量及び1等比率(5年産は12月末日、4年産以前は最終公表値)

種類	銘柄	検査数量(トン)	5年産米	4年産米	3年産米	2年産米
			1等比率	1等比率	1等比率	1等比率
水稲うるち玄米(岩手県)	ひとめぼれ	95,355	90.7%	96.7%	95.7%	94.0%
	あきたこまち	16,713	93.5%	97.1%	96.7%	96.3%
	いわてっこ	4,273	90.0%	97.6%	96.7%	96.2%
	金色の風	1,115	88.2%	94.1%	99.5%	98.4%
	銀河のしずく	19,433	97.0%	99.3%	99.0%	99.8%
	うるち全体	141,425	91.5%	96.7%	96.0%	94.7%

(農林水産省公表資料)

2日早まりました。出穂盛期は県全体で8月1日頃(平年比3日早)、登熟期間中は気温と日照時間は平年に比べかなり高く推移し、成熟期は平年より9日早く、刈取り盛期は7日早まりました。

外観品質は、高温の影響や刈り遅れによるとみられる白未熟粒や胴割粒が確認されました。

検査結果は、県内の水稲うるち玄米は14.1万トンが検査され、1等比率は91.5%と全国1位(前年産同期率97%より5.2ポイント低い)となっています。(表2・表3参照)

品質については具体的には、玄米粒全般において青未熟粒の混入はほとんど見られず、白未熟粒(基部、背白等の未熟粒)の混入が昨年産より「多い」も



検査の様子(JAいわて平泉輝倉庫検査場所)

の、落等する要因とまでには至らない程度のもので大半でした。また、着色粒の混入については昨年産より多く、落等の大きな要因となっています。被害粒では、刈り遅れ傾向のため胴割粒の混入が見られました。

最後に、JA登録検査機関では、美味しい「いわて純情米」を消費者の皆様へ届けるため、今後とも適正かつ公正な農産物検査を推進してまいります。

以上で令和5年産米検査の報告とします。



いわて純情むすめ  
料理体験記  
orders 3

牛肉100%、揚げずに作る  
イタリアン・ミートボール

- 材料(4人分)**
- 牛挽き肉…350g ●卵…1個 ●牛乳…大さじ3
  - パン粉…40g
  - ニンニク(みじん切り)…1片 ●粉チーズ…20g
  - パセリ(みじん切り)…3g
  - レーズン(湯通ししておく)…大さじ3
  - 松の実(アーモンドを軽くつぶしたものでよい)…大さじ2
  - 塩…適量 ●ブラックペッパー…適量
  - オリーブオイル…適量
  - カットしたトマト缶(トマトピューレでもよい)…200g
  - 赤ワイン…50cc
  - 飾り用パセリ…適量

- 作り方**
- ①ボウルに卵、牛乳、パン粉を入れて混ぜ合わせる。
  - ②①に牛挽き肉、みじん切りニンニク、粉チーズ、みじん切りパセリ、湯通ししたレーズン、松の実(または軽くつぶしたアーモンド)を加え、塩とブラックペッパーで軽く味を調えて、しっかりと練る。
  - ③②を一口大に丸めてバットなどに並べ、冷蔵庫に約30分入れて落ち着かせる。
  - ④フライパンにオリーブオイルを入れて③を中火で焼く。表面に焼き色がついてきたら、フライパンをゆすって返す。
  - ⑤全体に焼き色がついてきたら、カットトマト缶(またはトマトピューレ)、赤ワインを入れて蓋をし、弱火で約5分蒸し焼きにする。
  - ⑥仕上げに⑤のソースに塩・コショウで味付けをし、ソースを軽く煮詰める。
  - ⑦刻んだパセリを上からかけて完成!



いわて純情むすめ「初めての料理体験！」感想

- 材料をこねるとき“円を描くようにこねる”ということを初めて知りました。(村中)
- ハンバーグは作ったことがありますが、ミートボールは初めて作りました。思っていたより簡単に出来ました。(鷹嘴)
- 丸めるのも簡単で、ハンバーグよりラクに出来ると思いました。(村中)
- 焼く前に冷蔵庫で冷やすと“グチョツ”と崩れないから、ハンバーグより作りやすかったです。(鷹嘴)
- 試食してみて、ナッツの歯応えある食感とレーズンの甘みがとても新鮮でした。そして、ソースはトマト缶の強い酸味とコショウがよく効いていて、美味しかったです。(村中)

**料理監修** オーナー/佐々木朋美  
 紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199  
 くるみアパートメント1F TEL 019-681-7337  
 Mail tom1123tom@icloud.com  
 https://tom-creperie-deli.com



純情ブランド消費地の「今」をレポートします。  
消費地だより



中京・関西地区における米穀の販売促進について

大阪の3月は、冬から春へと変わる季節で早い年には3月中旬から桜の開花が始まり、本格的な春を迎える時期となります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に移行したことで、社会経済活動の本格的な再開に向けて動き出した年となりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東紛争の激化による影響で、穀物市場の変動や生産資材の高騰など、生産現場への負担が増高、そして国内消費者物価の上昇により生活にも大きな影響をもたらしています。

コメの需要動向は、2020年の4年前から新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから大きく減少しましたが、2023年5月に5類に移行され、インバウンド消費や外食産業の回復にあわせて需要も持ちなおしました。また、家庭用米も回復傾向にあります。

私が担当している関西エリアのコメの販売状況ですが、北海道から九州まで全国各産地のお米が売り場に並んでおり、厳しい産地間競争があります。主要産地銘柄(ゆめぴりか、あきたこまち、つや姫、新潟コシヒカリ、北陸コシヒカリ等)の量販店精米販売平均価格を見ますと、直近(12月)で2,151円/5kg(税別)、昨年同期比で127円/5kg値上げの価格相場になっています。大阪府では物価高騰の影響が長期化している中、特に食料品の高騰により家計負担が増大していることを受けて、第2弾となる「子ども支援食費支援事業」によるお米クーポンが1人につき5,000円(税込)給付(昨年9月〜今年1月まで)されました。今後、第3弾も予定されており、更なる家庭用米の需要回復も期待できます。

このような中、令和5年産は、産地

中京・関西地区 販促キャンペーン実施一覧

実施期間	実施店舗	実施銘柄	売価(税別)
10/28~10/29	【沖縄県】 イオンモール 具志川店・ライカム店	ひとめぼれ	1,780円/5kg
		金色の風	2,080円/5kg
11/3~11/5	【大阪府】 かどや(堺中央卸売市場)	ひとめぼれ	1,991円/5kg 3,991円/10kg
		銀河のしずく	1,780円/5kg 3,280円/10kg
11/11~11/12	【愛知県】 イオンモール 茶屋店	あきたこまち	3,180円/10kg
		銀河のしずく	1,980円/5kg
11/21	【大阪府】 万代 八尾店・豊中豊南店・巽北店	ひとめぼれ	1,980円/5kg
		銀河のしずく	1,880円/5kg
11/25~11/26	【広島県】 フジグラン 広島店・高陽店・緑井店 【愛媛県】 フジグラン 志津川店・重信店・エミフル店	ひとめぼれ	1,980円/5kg
		銀河のしずく	1,880円/5kg

※売価設定は販促期間限定

一丸となった「いわて純情米」の販売促進活動を行い、直接お客様にPRしています。

昨年10月に沖縄のイオン琉球を皮切りに大阪、愛知、広島、愛媛で生産者様やJA様の協力のもと販促キャンペーンを実施しました。コロナ禍の販促活動とは違い、試食提供が可能になったことで実際にお客様の美味しさを感じてもらう、販売につながることで、販売促進活動を通



じてお客様と直接コミュニケーションを図り、高品質で良食味な「いわて純情米」の継続的なファンになっていただくようPRしました。

今後も、生産者の皆様が生懸命育てた「いわて純情米」をより一層ご愛顧いただけるよう、そして、皆様安心して米づくりに専念できるような販売体制を構築してまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

# 火入れ・野焼きに注意!!



～忘れない 山の恵みと 火の始末～

- 令和5年は28件の山火事が発生し、約6割が3～5月に集中しています。
- 令和5年はたき火・火入れ・野焼きを原因とする山火事が約7割を占めています。
- 大切な森林を山火事から守るために、野外での火の取り扱いには十分注意しましょう。

平成29年に釜石市で発生した山火事▶

## 火入れ

森林又はその周囲1kmの範囲内で立木竹、雑草、堆積物等を面的に焼却する行為で、**市町村長の許可が必要!**

火入れ許可の対象(森林法第21条)

- ◆ 造林のための地ごしらえ・開墾準備のため
- ◆ 害虫駆除・焼畑・牧草の改良のため

## 野焼き

枯れ草や廃棄物を焼却する行為で、**原則禁止!**

(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2)

例外として

- ◆ 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却
- ◆ たき火、その他日常生活を営む上で通常行われる焼却で軽微なもの

市町村等の条例により、行為前に消防署への「火災とまぎらわしい発煙の届け出」が必要

## ◎令和5年に山火事が発生した市町村

- 発生件数：28件(前年比2件減)
- 被害面積：4.09ha(前年比6.2ha減)



## 編集後記

早いもので入会して1年が経とうとしています。

不慣れで至らない点多々あったかと思いますが、皆様の温かいご支援のおかげで今日まで務めることができました。来年度も本会の取り組みを広く皆様にお届けできるよう、頑張りますのでよろしくお願いたします! (西川)

## KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかという願いが込められています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

